

成人向け
同人誌

潮

リョウゴク
しゅら本





ミニのスペースの
活用法も知りたくなる。



我が鎮守府は
皆の活躍のおかげで
轟沈も出さずに

ここら一帯の
安全は確保された



それだな…
えーっと…

?

本当にありがとう
自慢の艦娘たちだ

もじもじ



平和すぎて…
やることがな

えー…なんだ
その無くてだな…

だからと言って
休暇にもできなくて

皆には近場の警備を
頼みたいと…
思ってるんだけど…

ご主人様
お休みさつ
やすやすさみ

クソ提督!
本当にクソ提督!!

頼む!
これも大事な任務の
一環だから! な?

えーっ

周辺海域の警備か…

まあ不満は少しある
かもしれないけど…
こうして平和な日々が
送れるのは良いことだね

いやアタシも
平和が良いと思う
ただ体がなまりそう

そっかな？
訓練もしてるし
大丈夫だと思うけど
ねえ曙ちゃん？

ギク…

曙ちゃん？

しゃん…

…

ニユフフ♥
ご主人様と潮ちゃん
ですね？

ふえり!!
なっなんでもない!

あれれ？
曙ちゃん怖い顔して
考えことかな？

べつ
別に私は…
クソ提督の
こととかは…う

キタコレ!!

違うって言うて…
あーもー!

はいはい
分かってますよ
分かってますよ





いやまあ
曙ちゃんがご主人様に
惹かれるのもわかるっ

だ〜から〜っ

なんてったって
今の平和は提督の
貢献が大きいからね

戦術に指揮能力…

あつああ…

あとやさしくて
かつこいいからねー

うん…あつ
いやっ思っ
ないから…!!



そして…秘書艦の
潮ちゃんのことですよね♥

っ!

潮ちゃんのしおらしさに
あの容姿…うんあれは
ご主人様も堕ちちやうよね

潮ちゃんの魅惑に
果たして提督は
耐えられるのかっ!?

はっはあ!?
魅惑とか…あいつは
そんなことは…



いやいやいや!

そもそも
気にしてないし…

うっふっふ
大丈夫ですよ
あの提督はそんなこと
するわけないからっ

にやり



それにあのおっぱい…
曙ちゃんと同じやあ…

やめなさい

お
声が本気だ

まったく…

く〜い…

提督の部屋

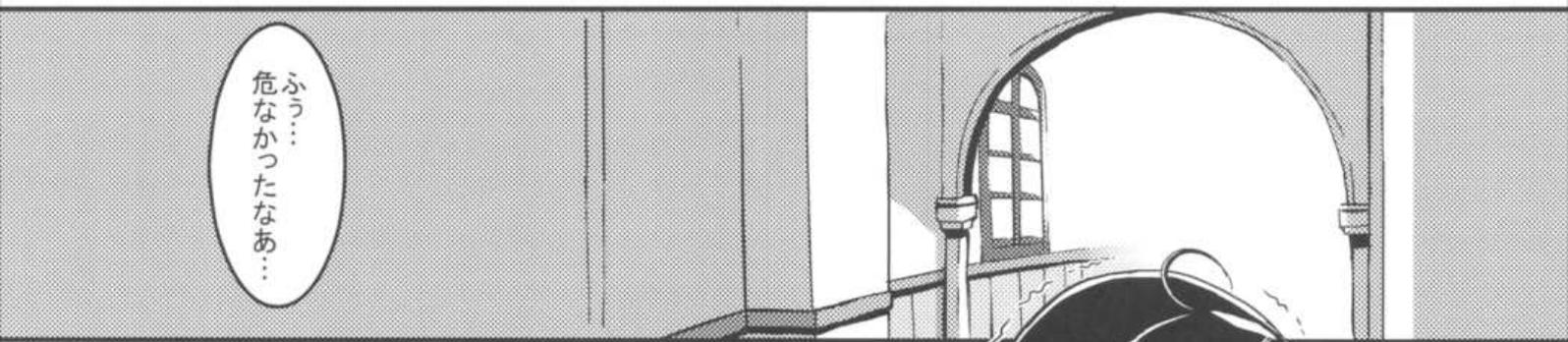


?

ほら行くよ
どうしたの？

いや…何でもないわ
今行くわよ…

今のは…？
…気のせいよね…



ふう…
危なかったなあ…



もう少しで見つかっちゃう
ところだったなあ…

ふふ…
興奮しちゃったか？

興奮したよな？
なあっ

いいえ…

皆が出撃するっていうのに
昼間から淫乱行為…

してな…あっ
んっ

嘘つきはよくないなあ
潮…

体中こんなに
火照らせて…
感じたか？
興奮してるよな

そんな…あつ

んー誤魔化すなんて…

イケないなあツ

あはは

今日も潮の乳首は
相変わらず
恥ずかしがりや
さんだな…っ

でも感じて…
乳首が…出てきて

ーきたっ
おほお♡



ほかの艦娘を秘書官にして
潮の代わりを
させてもいいんだぞ…?

ツ!!ま…まって…
待ってくださいいっ
私は大丈夫です!

…本当にか?

吸っちゃ…あつ
いついやあ…
なんだろ
俺の相手は…

ひやかあ?
そんなにひやなら…



はっはい…

ほんとろに?



こんな目にあつて
嬉しいのか!潮っ

どうだ嬉しいか!?
嬉しいのか…っ



嘘だ嘘
俺は出会った時から

お前一筋だぞ
秘書艦はお前だけだ

…っ

俺を差し置いて先にイクなんて

いけない子だな？

罰として口でしごいてもらおうかな？

これが罰になるか分らないけどな

おお…くう…あつ吐き出そうと抵抗したらだめだ…ぞっ！

激しくなきや罰にならないだろう…！

おお…しかしたまらん…舌が絡みついてくる…！

こども…こんなにあふれて

こんなめちゃうちゃしてイッちゃたのか…敏感だな…

うおっ！



ふー…
ふー…
あーあ…

見てくれよ…
中途半端に止め
ちやつたから…

こいつの治まりが
効かなくなつちやたよ

ひつなつ
なあつ!!

くつくるし…い…

しつ鎮め…
やつ…あつ

潮のおマンコで…

鎮めてくれ…

そんな大きいの…
はつ入らな…

うお…いい具合…
ふふ…苦しいのか潮…
可哀そうに…でも

そんな苦しさを
すぐに忘れ
させてやるぞ…

子宮口を…
叩いてやるとっ

締まって…締まって…
潮は子宮口を
突かれるのが
本当好きなんだな♥

提…督…つやっ
やめつ…あ…

うお…



ふう…悪いな潮
お前があんなにも
良い反応をするから

気持ち良すぎて
止まらなかつたよ
相変わらず敏感な
やつだな♥

そういえば最初から
潮は派手にイッてたな♥

そんな…ことは…
ない…れす…っ

セックスも潮吹きも
全部俺が初めてを
あげたんだよな

っ

思い出したら…
また…たぎって
きたぞお♥

ふっふっ!!

可哀そうに…
こんな男に
運に入られたのが
運の尽きだな!

これからも
お前の初めては俺が
全部与えてやるからなっ
いいなっ!!

ひっ…あ
そん…なあ…っ

う…あぁっ

はは…ははっ
うっも…もう出る…
でるぞお

ッ
やだ…駄目
です…ああッ



もう少しで腰に
出ちゃつとこりだったな…

…危なかった…

夢中になり
すぎちゃったな
中に出して
子供なんてできたら
提督じゃあい居られ
ないからな

ぬん...

俺が居なくなったら
寂しいだろ？

お前の体の火照りを
癒すには...

俺の...

こんなに
いっぱい...

んん...

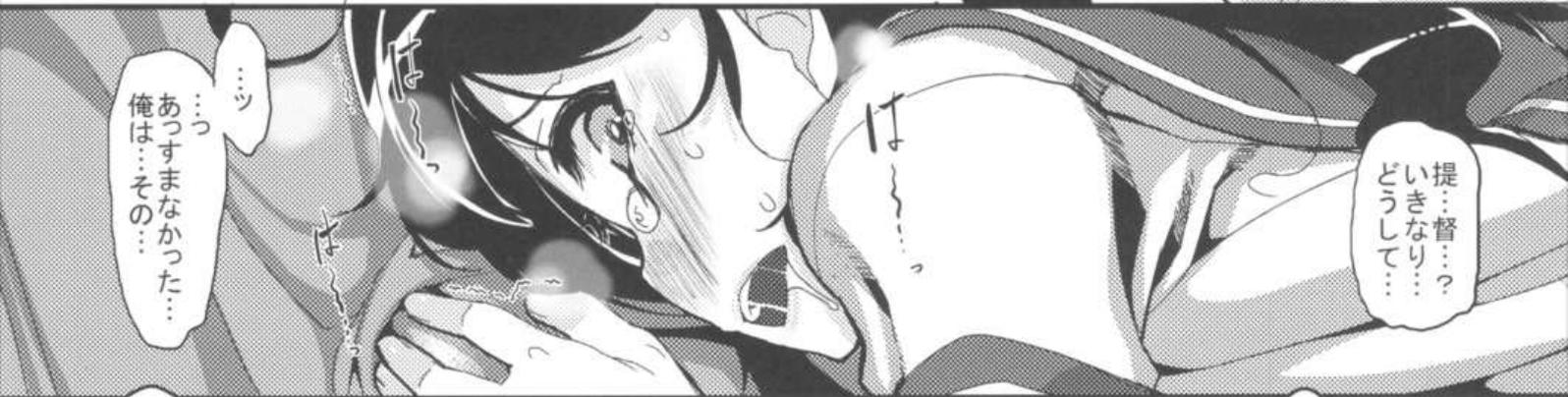
ぬん...





あ...ッ!!
あ...いや...

その...



提...督...?
いきなり...
どうして...

ッ...
あつすまなかった...
俺は...その...



...今日は...
ここまで...しよう

え...

服はいつもの
ところ用に用意してある
から着替えなさい



では...な

ハッ

夢中になりすぎて…
忘れていた…あの
濁った瞳に…



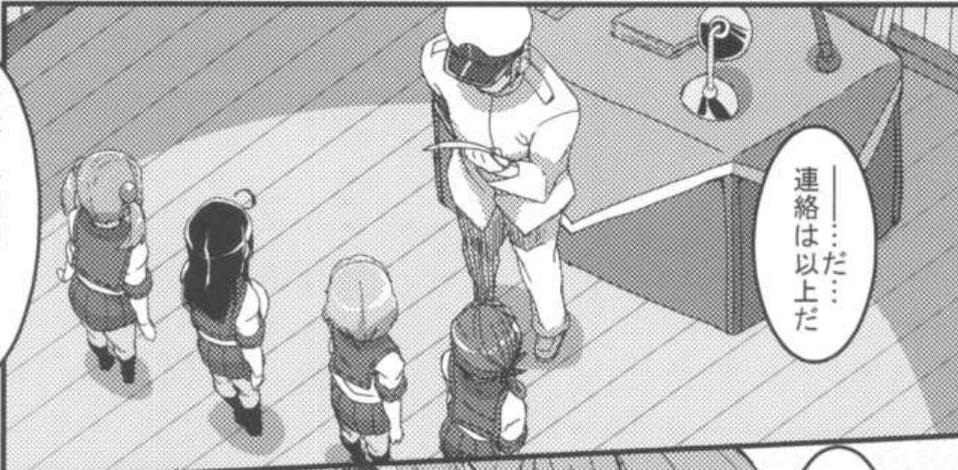
最近行為の後は
いつもああだ…
クソ…なんで俺は
焦って突き飛ばしたり
なんか…何で…

俺は焦ってなんか…
焦って…なんか…

潮は…俺のもの
なんだ…
そうだ…
怯えてなんか…



…だ…
連絡は以上だ



では…今回の…
哨戒任務についてだが



今回は

秘書艦の潮にも
出てもらうことになった



哨戒の方をな…
なんだその…
強化しようと思って
いたところだ…

では…みんな
それと潮…
頼んだぞ…



あの…潮ちゃん

…

…その…大丈夫？

何…かな？

えっと…困った
ことがあったら
言っただけ…っ



…困ったら…？

うっうん潮ちゃん！

それじゃあ…
ひとつだけ…

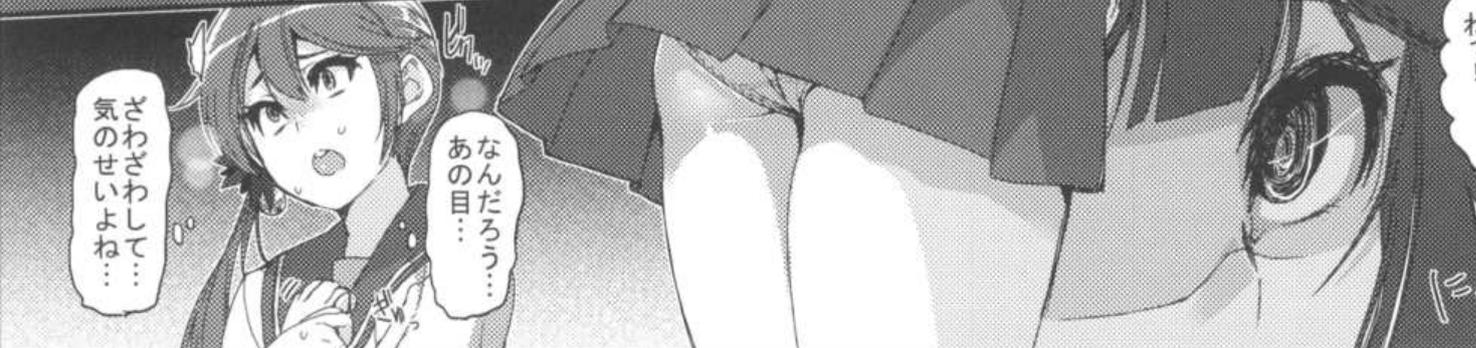
！

うっうん
何でも言っただけ！



ありがとう
それじゃあお願いしたい事
一つあるんだけど…

いい…かな？



うん
勿論だよ！
ねっ！

なんだろう…
あの目…

ざわざわして…
気のせいよね…



ねえ曙ちゃん...?

もつと潮ちゃんを見留って...
つて曙ちゃん?

うん...

まつ待て...待つんだっ
提督である俺に
こんなことを...
いつ今なら
このことに関しては
何も見なかったことに
しよう!どつどうだ!?

くお...やめてくれ
それ以上尿道に
舌を...う...っ

あッ
そんな...
シゴいたら...





これで10回目のおあずけですね

うううあ...くそお...なんでこんなことに

早く...応えて欲しいのですが...

もう三日も提督の精液を頂いていませんから...

えっ今...



...それで...ですもう一度...質問します...

どうして...私を遠ざけるような真似をしたんですか提督...?

...そつそれはその...な...

...そうですか...では続けますね

なんで...なんでなんだもう俺はお前に手を出さない...それじゃあ



う...乳首を噛む...なあ...うああ...ッ

あ...あ...もう...お願いだ...射精...させてくれえ...ッ

わっ分かった...言うから...言うからやめて...やめてくれッ!!

う...う...ッあぐ...ッ

はあ...はあ...っ...なんで...こんな...



すっ吸われ…

あ…あははっ
バレちゃう
なんて…

はーっ
はー…あ

三日分の…
せい…えき…
濃い…

う…うう…
う…しおっ



あ…あははっ
バレちゃう
なんて…
完璧だと思って
いたんですが…
私の演技♥

…え…
演技…?

私が黙って従って
いけば…提督ったら
くれるかなって…あはっ

それに…その気に
させようと色目を使うと
激しく求めてくれるのが
嬉しくて…嬉しくて…♥

でもまさか…
顔じゃなくて…瞳に
気持ちが出てちゃう
なんて…思っても
いませんでした…

提督がいけないんですよ…
私の子宮が提督の精液を
こんなにも欲しくて…
疼くのに…

疼くのに疼くのに…っ
こんなにも疼くのに…っ

まあ…それも今は
関係ないですよね
これからいっぱい
頂けるんですから

全然貰えないから…っ

キーン

キーン



すつすまない…
すまなかつたツ!!
俺が…悪かつたツ

ゆっ許してくれ…っ

どこへ…
行くんですか?

ツ!?



三日も…
放置されて
いたんですよ?

これ以上おあずけ
されたらおかしく
なっちゃいます…
確か私の火照りを
癒すのは提督だけ…
って言っていましたよね♥



これ…これです…っ

あはあ…やっぱり
提督の極太チンポ
最高です…
軽く…イツちゃい
ました…っ♥



それに...んあっ...我慢...

いいん...ですよ
ビュってえ...っ
中に出しても...

やめっ...今射精した...
ばかりで敏感に...!!

したって...っ



提督はこうやってギョッて
締めるのが...気持ち...
いいんですよっ♡

特にい...っ
こうやってぐりぐり...するのが...
好き...あっ...んひい♡♡

提督はどこが
気持ちいいのか…
私…知り尽くして
ますから…

提督がいっぱい
私の体で
教えてくれたん
ですよ…♡

我慢は体に
悪いですよ？

はやくう…提督の愛で
私の身体を満たして…
ください…んっ♡

こうして私から
キスをしたかった…

ずっとギョッて…
したかったあ♡

提督のおチンポを
膣でじっくり感じた
かったんですよ…♡

だめえ…好きが
止まらないんです♡

ます…いつ！
潮…待った…
でっ出る…ッ

すきいすきい…
すき…です♡

はっ...はっ...
ああ...あふれ...
ちやいます...♡

はっ...はあ...なっ中に
出してしまった...っ

お腹の中で...
おチンチンが射精して
ビクビクしていますっ♡

これが中出し...熱くて...
満たされてるこの感じ...
トロけちやいそうですっ♡



あ...あう...
すこいですう♡

こんなに気持ちいいんですね...
クセになっちゃいます...♡

さて...

続きは...提督に
お願いしますね♡

え?



うっ潮...っ
これ以上出したら...

じゃあまた
私が絞り出しても
いいんでしょうか?

な...っ!?

それに膣に射精は...
気持ち良く...
ありませんでしたか

もう一度...中に
びゅーって...
したくは
ありませんか♡

提督...
お願いします♡





あはあ…っ
体中、下、下、下…♡

こんなに刷り込まれたら…
提督の精液なしじゃあ…
生きて…イケなさそうです♡

おね…

オッ



…ウソ…
ですよね♡

ほっ本当はって…
もう一滴も…出ないっ

本当は袋に残っている
精液を頂きたいですが…



一滴も残さず
頂きますから…

うっ潮…？



大丈夫です…よ



そんなことは…

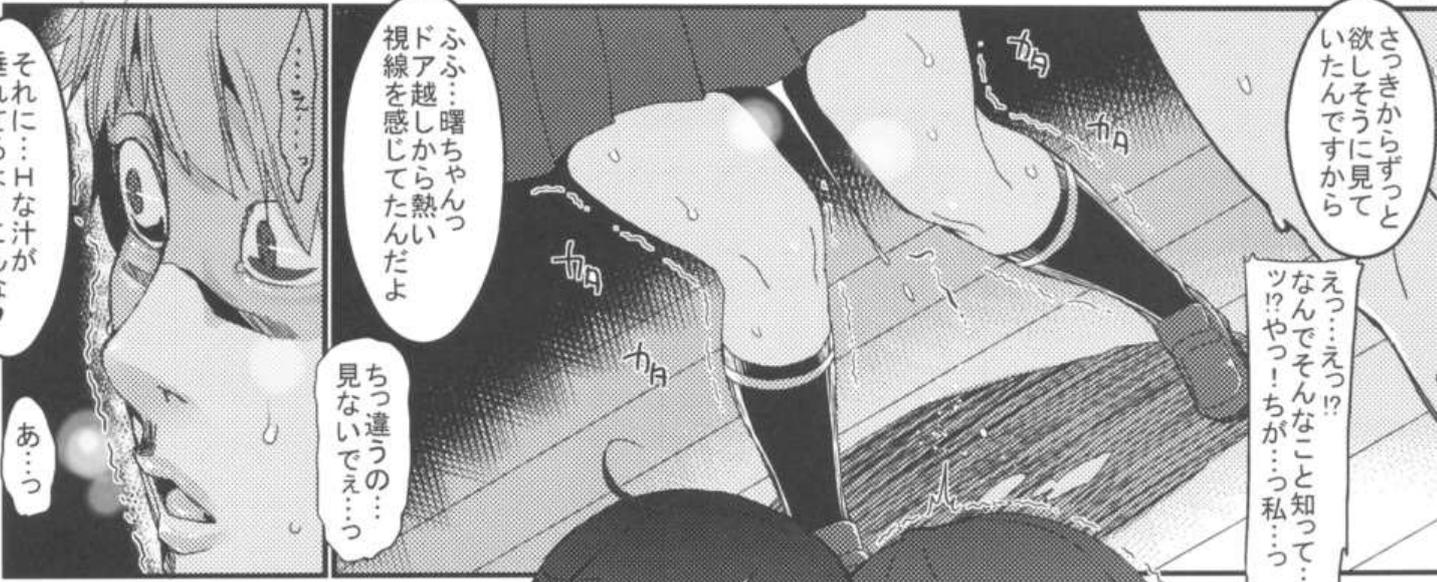


だって…

残りは…
曙ちゃんの分ですから♡

あ…

あ…あけ…ほの？



さっきからずっと
欲しそうに見て
いたんですから

えっ…えっ!!
なんでそんなこと知って…
ッ!? やっ! ちが…っ私…っ

ふふ…曙ちゃんっ
ドア越しから熱い
視線を感じてたんだよ

ちっ達うの…
見ないでえ…っ

それに…Hな汁が
垂れてるよ…こんな♡

あ…っ



さあ曙ちゃんの準備は
整っていますよ提督♡

うし…お…
やめ…っ

残りは曙ちゃんに
あげちるからねっ

う…じおお…っ

さあ…二人とも…
楽しみましょうね♡

あ…

おしまい。

あとがき

手に取っていただき本当に
ありがとうございます!!

※提督をショタにした場合こうなりましたの図

曙は潮の玩具になっていたと思います！



発行日 2015年 12月31日

発行 HBO 変熊

印刷 金沢印刷様

連絡先 gsm1bt4@yahoo.co.jp

12歳未満の方の購読・観覧はご遠慮ください

Presented BY
HBO